

交通のうつりかわり

大正時代		明治時代			江戸時代			
今	20年 まえ	30年 まえ	50年 まえ	90年 まえ	110年 まえ	200年 まえ	400年 まえ	800年 まえ
<ul style="list-style-type: none"> ● 大玉村じゅんかん乗り合いバスが廃止された。 ● 東北しんかんせんが通った。 ● 大山まわり岳温泉ゆきのバスが廃止になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北自動車道ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道4号線がほそ道路になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 岳温泉ゆきの乗合いバスがはしった。 ● 大山まわりの岳温泉ゆきの乗合いバスが走った。 ● 竹ノ内行き乗合いバスが走った。 ● 大玉村じゅんかんの乗合いバスが走った。 ● 大山トンネルができ、五百川駅から杉田駅まで複線化された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車がぶつうの乗り物になった。 ● このころから荷馬車が利用された。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東北本線が開通した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人力車があらわれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 奥州街道がせいびされた。 	

交通のうつりかわり 今から百十年くらい前は、村から本宮や二本松へ買い物で出かけるのは、お盆ぼんと正月のほかは一年のうちいく日もなかったといひます。そのころの交通

は、ほかの村や町にでかけるといっても歩いて行くか馬を使うかの交通だったわけです。百十年ほど前東北本線が通るようになりましたが、村を通るだけであまり利用しませんでした。一ぱんの人々の乗り物として利用するようになったのは五十年ほど前からです。それに、道路がせいびされるようになって昭和二十七年頃玉井まわり岳温泉、二十八年に大山まわり岳温泉行きの乗り合いバスが行ききするようになって、たいへん便利べんりになり、村の人たちに利用されるようになりました。しかし、一年前（平成六年四月）から、大山まわりのバスは通っていません。